

あおもりサニーヒルセミナー

「片づけ」は 自分と向き合う セラピー

子どもの不登校でイライラお母さんだったのが
「片づけ」で、ごきげんお母さんになるまで

加藤さんの講座に聴き入る
参加者の皆さん



12月1日、公益財団法人むつ小川原地域・産業振興財団（むつ財団）の助成によるサニーヒルセミナーが開催されました。

会場の教育会館には、1時間も前からボランティアの皆さんが会場づくりなどの準備に参上してくださいました。

定刻通り、ボランティアの三上満穂さんの司会で始まり、西川理事長・学長が講師の加藤ゆかさんのご紹介も兼ねて挨拶しました。



NPO 法人 コミュニサーあおもり

ひだまり通信

2019年 ②
12月23日号

青森市港町2-10-49-17号
080-5736-2442

セミナー終了後は、別室にてフリースクールや不登校についての『相談会』も実施しました。セミナー会場などでの相談も含めて数人の方々の面談を受け、時間不足を後日サニーヒルでの面談へとつなげる方法も取られ、充実したセミナーでした。

感想も多く寄せられ、今後につなげることが出来ます。

また、参加者一人一人が自分のバッグから入っている物をすべて出して入れ替えるワークショップも体験しました。自分のバッグの中身を見て、思わず笑みをこぼす場面が垣間見られ、微笑ましい時間を過ごしていました。

セミナー講師の加藤ゆかさんは、親としてご自身が『子どもの不登校』を経験したことがあり、当時の苦悩やたまたま知った『片づけ』を実践したことで家が整うだけでなく、自分の内面も整った経緯や『片づけ』のコツや事例などを具体的にお話しいただきました。

司会を務めた三上満穂さん



挨拶をする西川理事長



加藤ゆかさん

整理収納アドバイザー

整理収納アドバイザー



1月8日（水）12：00～15：00 冬休み企画

『ゲームの世界を知ろう』—ゲームの魅力と向き合い方—
会場；サニーヒル （11：30 受け付け開始）
コーディネーターを務めます！

クラウドファンディングで

『まちづくり・地域活性化』

支援金を募る！



【 インターネット上での訴え 】

NPO 法人コミュサーあおもりは青森県初となるフリースクール「あおもりサニーヒル」を2018年に設立しました。

様々な悩みや困りごとを抱えた子どもたちが安心できる『居場所』を作ります。

未来を見失いそうになっている子どもたちが希望と笑顔を取り戻せる環境の整備にご支援ください。

支援要請の趣旨

現在「あおもりサニーヒル」の校舎としてしている一軒家は、広さは十分ですが築30年以上経っている古い家です。そのため冷暖房設備が十分に整備されておらず、夏や冬には子どもたちが満足しているような活動に取り組む環境ではないというのが現状です。
このままではせっかく「フリースクール」に行きたい！と心に決めた子どもたちを気持ちよく受け入れてあげることができません。
今回のプロジェクトで募ったお金は子どもたちに最善の『居場所』を提供するための設備・環境の整備に充当したいと考えております。

12月23日現在

支援総額

290,000 円

(目標金額は 200,000 円)

(145%達成)

(パトロン数 46人)

支援された方々へ配布されるリターンの一部
《ねぶた師・竹浪比呂夫さんの絵カード》



支援・寄贈くださった皆さんに心から感謝申し上げます。

あおもりサニーヒル

「子どもサポート」心得

※「自分くずし」を受容し、本来の自分を取り戻す新たな「自分づくり」を援助する。

【自分くずし；生きづらさの基となっている

社会一般の価値観などを否定・脱皮しよう

とする行為・行動】

- 子どもの「声」に耳を傾ける。
- 指図や説得をせず、同意を得ながら共に行動する。
- 適度な自由を保障する。
- 何をして過ごすか、選択肢も示しながら共に考え、子どもの考えを尊重する。
《やがては『自分だけの日課票』をめざして》
- 時間割通りではないが、適度な切り替えを勧めてみる。
- 初めに学習ありきではなく、子ども自身の選択にゆだねた学習方法を。

あおもりサニーヒル

「相談・面談」対応心得

※相談・面談の初めに「メモを取ってもいいですか」と了解を得る。

※意見やダメ出しは禁物

- 相談者の「声」に耳を傾ける。
- フリースクールは、子どもの心と身体を休める場所であることを共有する。
- サニーヒルでの過ごし方を説明して一緒に考える。